

Topics

第18回企業情報交換会inいちのせきを開催しました

令和7年2月6日（木）、皆様のご支援・ご協力のもと「第18回企業情報交換会inいちのせき」を開催できましたこと、お礼申し上げます。展示会、講演会をあわせてのべ321名の方にご来場いただき、盛況のうちに終えることができました。

展示の部は、一関ヒロセユードームを会場に行い、37社・11団体に出展頂き、技術交流・情報交換、自社PRなど工夫を凝らした展示ブースが多く見られました。プレゼンテーションタイムでは、自社製品などのPRを4社より行っていただきました。

また、千厩高校の生徒さん25名が来場し、地域企業の製品・技術等について積極的に質問をしていました。



一関ヒロセユードームでの展示の部



ベリーノホテル一関での講演の部

講演の部では、ベリーノホテル一関を会場に、台湾優良食品発展協会 駐日代表 いちのせき大使である陳 英顯（ちん えいけん）様より「台湾企業について知る」と題して、講演を頂きました。台湾企業の日本との関係や半導体産業の戦略などを詳細に説明されました。

皆様より頂いたアンケートでは、「台湾全体が非常に高い向上心をもって活動していることを認識できた」、「今後の日本企業の成長戦略に対する貴重な情報が確認できた」、「業績の伸びている企業の経営者の講演や、成功している国や企業の考え方・経営方針を聞きたい」など、次回開催に向けてのヒントを頂いております。企画を精査して参りますので、引き続きよろしくお願いたします。

4月は
第3水曜日が・・・
イブニングの日

皆様お誘い合わせのうえ、
ご参加頂けますようお願いいたします。

★第258回産学官イブニング研究交流会へのご案内

場所：ホテル松の薫一関
日時：令和7年4月16日（水）
参加費：5,000円
名刺交換会



令和6年度の弊所事業の実績について、2月末時点の概要とはなりますがお知らせします。

試験分析機器利用件数

利用件数858件、依頼分析427件 合計1,285件

ものづくり人材育成事業

15講座 168名(延べ人数)の受講

- 【分析系講座】・・・9講座 18名
- 【材料系講座】・・・2講座 11名
- 【品質管理系講座】・・・3講座 111名
- 【技能系講座】・・・1講座 28名

品質管理検定 (QC検定) 令和6年9月1日 (日)

受検者 231名 (1級 2名、2級 28名、3級 148名、4級 53名)

キッズ・サイエンス 令和6年8月3日 (土)

『実験で楽しむ、結晶のふしぎ』 参加者 一関市内・平泉町内小学生21名

第16回地域企業情報ガイダンス 令和6年10月19日 (土)

出展44社、参加者236名

第18回企業情報交換会 令和7年2月6日 (木)

展示37社11団体 260名 講演 61名

毎月1回開催・産学官イブニング研究交流会

講演の部 564名 交流の部 477名



キッズ・サイエンス

Topics

化学 (ケミストリー) の視点

★連載版No.20

※今回の担当は、当センター所長の佐藤 (腐食防食専門士 (公社) 腐食防食学会認定) です。

あれ? ステンレス鋼も錆びるぞ!

前回ステンレス鋼が錆びにくいことを書きました。しかし、万全ではありません。例えば溶接などでその近傍が500~800℃に保持された部分 (溶接熱影響部:HAZ) では腐食しやすくなります。これを鋭敏化と言います。これは図に示すように、結晶粒界で移動してきた炭素が粒界近傍のクロムと結びつき、Cr炭化物(Cr₂₃C₆)を生成します。結果として、粒界近傍のCr量が減少し (Cr欠乏層)、その部分はステンレス鋼として必要なCr量(13%以上)が不足しステンレス鋼でなくなり、耐食性を維持するCr酸化皮膜がうまく出来なくなります。従って酸とかに粒界に沿って腐食し易くなるわけです。これがステンレス鋼の局部腐食である、粒界腐食という現象です。写真は鋭敏化された試料で、シュウ酸溶液中、電解エッチングにより粒界が優先的に溝状に腐食しているのが観察されます。

対策として、生じたCr炭化物を1000℃以上の温度で溶解し、急冷して均一な組成にする溶体化という熱処理があります。また、代表的なSUS304の炭素量は0.08%以下ですが、炭素量を0.03%以下にして炭化物を作りにくくした低炭素ステンレス鋼SUS304L (L:Low carbon) の使用があります。

